

人権(平等権、自由権、社会権)

【解説】教科書の重要キーワードをチェックした後、次のページへ！

1 平等権……国民はすべて平等で差別されない権利

部落差別・アイヌ民族・在日朝鮮人問題 などがある

- ① 法の下 の平等……法律の範囲内で国民はすべて平等である
- ② 両性の本質的平等 ……男女は平等である。
- ③ 男女雇用機会均等 法……雇用で男女の差別を禁止
女性の賃金が低いことや、職場でのセクシャルハラスメントも問題である

日本国憲法 第14条

すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

2 自由権……国民が個人として尊重されるのに必要な権利

- ① 身体 の自由……どれいできこうそく ごうもん 奴隷的拘束や拷問を受けない
現行犯以外で逮捕されない
- ② 精神 の自由……思想や良心、信教(宗教)、学問は自由である
言論、出版などの表現も自由である
- ③ 経済活動 の自由……居住、移転、職業選択は自由
財産も保障される

第18条

何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪による処罰の場合を除いて、意に反する苦役に服させられない。

第19条

思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

第21条

集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

第22条

何人も公共の福祉に反しない限り居住、移転及び職業選択の自由を有する。

3 社会権……国民が人間らしい生活をする権利。自由だけでは無理

- ① 生存権 ……国民が健康で文化的な最低限度の生活をする権利
- ② 教育を受ける権利 ……無償の義務教育を受ける
- ③ 勤労 の権利……働いて生活をする権利。権利とともに義務でもある
- ④ 労働基本権 ……使用者に比べて立場の弱い労働者を保護する
団結権・団体交渉権・団体行動権の3つ

第25条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

第26条

すべて国民は、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。義務教育は、これを無償とする。

第27条

すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。

第28条

労働者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する。

【教科書の重要語句】《一問一答》問題文ごと暗記しよう！

下線部にあてはまる語句を書きなさい。

A

- ① 基本的人権のうち、国民はすべて平等で差別されないという権利を_____権という。 ① _____
- ② ①の権利のうち、男女は平等であることを_____という。 ② _____
- ③ ①の権利のうち、法律の範囲内で国民はすべて平等であることを_____という。 ③ _____
- ④ 1985年に、雇用に際して男女の区別をしてはならないという_____法が制定された。 ④ _____

B

- ① 基本的人権のうち、国民が個人として尊重されるのに必要なのは_____権である。 ① _____
- ② ①の権利のうち、拷問を受け^{ごうもん}ないことや現行犯以外で逮捕されないことを_____という。 ② _____
- ③ ①の権利のうち、学問や思想、宗教などが自由なことを_____という。 ③ _____
- ④ ①の権利のうち、住居や職業選択が自由なことを_____という。 ④ _____

C

- ① 基本的人権のうち、国民が人間らしい生活をおくる権利を_____権という。 ① _____
- ② ①の権利のうち、国民が健康で文化的な最低限度の生活をする権利を_____権という。 ② _____
- ③ ①の権利のうち、働いて生活をする権利を_____という。 ③ _____
- ④ ①の権利のうち、無償の義務教育を受ける権利を_____という。 ④ _____
- ⑤ ①の権利のうち、労働者を保護する権利を_____という。 ⑤ _____
- ⑥ ⑤には、勤労者がア_____する権利、イ_____権や団体行動権が認められている。 ⑥ ア _____
イ _____
- ⑦ ⑥の内容を3つ合わせて_____という。 ⑦ _____

人権(参政権、請願権、請求権、新しい人権)

【解説】教科書の重要キーワードをチェックした後、次のページへ！

4 人権を守る(確保する)ための権利……自由権・社会権などの人権を政治の力から守る権利

① 参政権 ……政治に参加する権利。選挙権や被選挙権

最高裁判所裁判官の国民審査権や憲法改正の国民投票権

② 請願権 ……国や地方に要望を伝える権利

③ 裁判 を受ける権利……人権が侵害されたら訴える権利。請求権ともいう

国家賠償請求権(公務員の不法行為を訴える)

刑事補償請求権(無罪の人が賠償を求める)

日本国憲法 第16条

何人も、損害の救済、公務員の罷免、法律、命令又は規則の制定、廃止又は改正その他の事項に関し、平穩に請願する権利を有し、何人もかかる請願をしたためにいかなる差別待遇も受けない。

第17条

何人も、公務員の不法行為により、損害を受けたときは、法律の定めるところにより、国又は公共団体に、その賠償を求めることができる。

第32条

何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪はれない。

5 新しい人権……憲法にはないが、産業の発達とともに当然の権利として認められている人権

① 環境権 ……良い生活環境を求める権利。日照権など

環境アセスメント(開発する前に環境への影響について事前に調査すること)

② 知る権利 ……政治などの情報をうけとる権利。一部の地方で情報公開制度が設けられる

③ プライバシーの権利 ……個人の私的な情報を他人から守る。個人情報保護法が制定される

④ 自己決定権 ……個人が生き方を決定する権利。尊厳死や安楽死などが主張される

インフォームド・コンセント(医師は十分な説明をし、患者の同意を得て治療をおこなう)

ドナーカード(臓器の提供に同意した自己決定カード)

6 人権の制約

① 公共の福祉 ……社会全体の利益のこと。基本的人権は他の人の人権を侵害してはならないので制限をうける

無資格営業の禁止(経済活動の自由の制限)など

【教科書の重要語句】《一問一答》問題文ごと暗記しよう！

下線部にあてはまる語句を書きなさい。

A

- ① 人権を守る(確保する)ための権利のうち、国民が政治に参加する権利を_____という。 ① _____
- ② ①には、選挙権や_____、国民審査権や国民投票権がある。 ② _____
- ③ 国民が国や地方公共団体に要望を伝える権利を_____という。 ③ _____
- ④ 国民は人権が侵害されたときは_____権利がある。 ④ _____

B

- ① 新しい人権のうち、国民が良い環境で生活する権利を_____という。 ① _____
- ② ①に関連して、良好な陽あたりを確保する権利を_____という。 ② _____
- ③ 新しい人権のうち、個人の私的な情報を他人から守る権利を_____という。 ③ _____
- ④ 新しい人権のうち、政治などの情報を国民が受け取る権利を_____という。 ④ _____
- ⑤ 新しい人権のうち、個人が生き方を決定する権利を_____という。 ⑤ _____
- ⑥ 医師は十分に患者に説明をし、同意を得て治療をおこなうことを_____という。 ⑥ _____
- ⑦ 臓器の提供に同意した自己決定カードを_____という。 ⑦ _____

C

- ① 社会全体の利益のためには個人の人権は制限をうける。これを_____という。 ① _____
- ② ①に関連し、医師免許がない者は医者になれない。これは_____を制限している。 ② _____

【解答】

A

- ① 基本的人権のうち、国民はすべて平等で差別されないという権利を_____権という。
- ② ①の権利のうち、男女は平等であることを_____という。
- ③ ①の権利のうち、法律の範囲内で国民はすべて平等であることを_____という。
- ④ 1985年に、雇用に際して男女の区別をしてはならないという_____法が制定された。

- ① 平等
- ② 男女平等
- ③ 法の下での平等
- ④ 男女雇用機会均等

B

- ① 基本的人権のうち、国民が個人として尊重されるのに必要なのは_____権である。
- ② ①の権利のうち、拷問^{ごうもん}を受けないことや現行犯以外で逮捕されないことを_____という。
- ③ ①の権利のうち、学問や思想、宗教などが自由なことを_____という。
- ④ ①の権利のうち、住居や職業選択が自由なことを_____という。

- ① 自由
- ② 身体の自由
- ③ 精神の自由
- ④ 経済活動の自由

C

- ① 基本的人権のうち、国民が人間らしい生活をおくる権利を_____権という。
- ② ①の権利のうち、国民が健康で文化的な最低限度の生活をする権利を_____権という。
- ③ ①の権利のうち、働いて生活をする権利を_____という。
- ④ ①の権利のうち、無償の義務教育を受ける権利を_____という。
- ⑤ ①の権利のうち、労働者を保護する権利を_____という。
- ⑥ ⑤には、勤労者がア_____する権利、イ_____権や団体行動権が認められている。
- ⑦ ⑥の内容を3つ合わせて_____という。

- ① 社会
- ② 生存
- ③ 勤労権
- ④ 教育を受ける権利
- ⑤ 労働基本権
- ⑥ ア 団結
イ 団体交渉
- ⑦ 労働三権

【解答】

A

- ① 人権を守る(確保する)ための権利のうち、国民が政治に参加する権利を_____という。
- ② ①には、選挙権や_____、国民審査権や国民投票権がある。
- ③ 国民が国や地方公共団体に要望を伝える権利を_____という。
- ④ 国民は人権が侵害されたときは_____権利がある。

- ① 参政権
- ② 被選挙権
- ③ 請願権
- ④ 裁判を受ける

B

- ① 新しい人権のうち、国民が良い環境で生活する権利を_____という。
- ② ①に関連して、良好な陽あたりを確保する権利を_____という。
- ③ 新しい人権のうち、個人の私的な情報を他人から守る権利を_____という。
- ④ 新しい人権のうち、政治などの情報を国民が受け取る権利を_____という。
- ⑤ 新しい人権のうち、個人が生き方を決定する権利を_____という。
- ⑥ 医師は十分に患者に説明をし、同意を得て治療をおこなうことを_____という。
- ⑦ 臓器の提供に同意した自己決定カードを_____という。

- ① 環境権
- ② 日照権
- ③ プライバシーの権利
- ④ 知る権利
- ⑤ 自己決定権
- ⑥ インフォームド・コンセント
- ⑦ ドナーカード

C

- ① 社会全体の利益のためには個人の人権は制限をうける。これを_____という。
- ② ①に関連し、医師免許がない者は医者になれない。これは_____を制限している。

- ① 公共の福祉
- ② 経済活動の自由